

上場会社名 株式会社JMDC

上場取引所 東

コード番号 4483 URL <https://www.jmdc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 野口 亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 兼 CFO (氏名) 望月 智洋 TEL 03-5733-5010

半期報告書提出予定日 2024年11月12日 配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	19,197	39.6	3,250	△9.8	3,167	△12.4	2,211	△17.0	2,189	△17.8	2,506	△6.0
2024年3月期中間期	13,746	14.0	3,602	63.2	3,615	61.8	2,663	85.4	2,662	84.4	2,667	84.9

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	33.51	33.18
2024年3月期中間期	42.20	40.53

(参考) EBITDA 2025年3月期中間期 4,619百万円 (39.9%) 2024年3月期中間期 3,303百万円 (11.7%)

(注) EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	136,148	72,444	72,075	52.9
2024年3月期	122,452	70,686	70,590	57.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	14.00	14.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	32.8	9,300	32.7	9,100	31.7	6,200	34.0	6,200	34.6	94.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) EBITDA 2025年3月期通期 12,000百万円 (26.7%)

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	65,350,008株	2024年3月期	65,331,208株
2025年3月期中間期	731株	2024年3月期	647株
2025年3月期中間期	65,337,140株	2024年3月期中間期	63,094,445株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の4ページをご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	5
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、「データとICTの力で、持続可能なヘルスケアシステムを実現する」ことを目指して、日本のヘルスケア業界の多様なデータを結集し、社会に還元することを通じて、生活者の健康増進や医療プロバイダーの価値向上・業務最適化を支援しております。

ヘルスビッグデータセグメントは、健康保険組合を中心とした保険者の保健事業を推進するため、保険者が保有するデータの分析サービスの他、当社開発のPHRサービスを提供しております。また、医療機関に対しても医療データ分析サービス、診療報酬ファクタリングサービスの他、薬剤DBの提供等を行っております。さらに、こうした業務の付帯として受領した匿名加工情報をデータベース化し、学術・産業利用を進めております。

遠隔医療セグメントは、放射線診断専門医が不足している医療機関と契約読影医を遠隔読影システムでつなぐマッチングサービスの他、医療機関と放射線診断専門医をクラウドでつなぎ、遠隔での画像診断を可能としたASPサービスを提供しております。

調剤薬局支援セグメントは、保険薬局に対してレセコン及び電子薬歴システムなどのシステム開発・販売事業を行っております。

当中間連結会計期間の業績は、以下のとおりであります。

(当期の業績)

(単位：百万円)

区 分	第11期	第12期	比較増減	
	中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		
売上収益	13,746	19,197	+5,450	+39.6%
営業利益	3,602	3,250	△352	△9.8%
EBITDA(マージン)	3,303 (24.0%)	4,619 (24.1%)	+1,316	+39.9%

(セグメントの業績)

(単位：百万円)

区 分		第11期	第12期	比較増減	
		中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		
ヘルスビッグ データ	セグメント売上収益	9,834	15,511	+5,676	+57.7%
	セグメント利益(率)	2,492 (25.3%)	3,751 (24.2%)	+1,258	+50.5%
遠隔医療	セグメント売上収益	2,740	3,058	+318	+11.6%
	セグメント利益(率)	1,014 (37.0%)	1,130 (37.0%)	+116	+11.4%
調剤薬局支援	セグメント売上収益	1,261	649	△612	△48.6%
	セグメント利益(率)	133 (10.6%)	116 (18.0%)	△17	△12.8%
調整額	セグメント売上収益	△89	△21	+67	—
	セグメント利益	△338	△379	△41	—
合計	売上収益	13,746	19,197	+5,450	+39.6%
	EBITDA(マージン)	3,303 (24.0%)	4,619 (24.1%)	+1,316	+39.9%

(注) 当社グループの経営方針・経営戦略等又は経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標として、EBITDAがあります。当社グループは、EBITDAを用いて各セグメントの業績を測定しており、当社グループの業績評価をより効果的に行うために有用かつ必要な指標であると考えております。EBITDA及びEBITDAマージンの計算式は以下のとおりです。

- ・EBITDA : 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用
- ・EBITDAマージン : EBITDA/売上収益×100

各セグメントの状況は以下のとおりです。

[ヘルスビッグデータ]

当社グループは健康保険組合より寄せられたレセプト（入院、外来、調剤）、健診データ及び加入者台帳を匿名加工することで、民間利用可能な国内最大規模のヘルスビッグデータを有しております。当中間連結会計期間においても取引先健康保険組合数、利活用先である製薬企業及び保険会社の1顧客あたりの年間取引額はそれぞれ前年同期比ベースで継続して増加しており、事業は拡大を続けております。

また、当社開発の健康情報プラットフォーム「Pe p U p」（ペップアップ）により、上記のヘルスビッグデータに基づいて、一人ひとりのユーザーに合わせた個別アドバイスや疾病リスク表示を行っております。Pe p U pの発行ID数は当中間連結会計期間においても拡大を続けております。

上記の事業拡大に加え、2023年6月には、業界団体を超えた健康経営の実践に取り組む企業・団体が集結し、「健康経営アライアンス」が本格始動し、2024年9月末日時点で427社・団体に拡大しております。同アライアンスは、社員の健康をつじた日本企業の活性化と健保の持続可能性の実現をミッションに活動しており、現在、勉強会・セミナー、アンケート・データ分析に基づく健康経営アセスメント、健康経営ソリューションの情報プラットフォーム構築の3つの取り組みを進めております。今後、活動の更なる拡大と健康経営の実践を通じた成果及び事業の創出を加速してまいります。

また、2024年1月には、株式会社キャンサーズキャンを子会社化いたしました。キャンサーズキャンが有する自治体における強固な顧客基盤を通じ、当社が健康保険組合との取引にて培ったサービス・ソリューションを展開すること、また、キャンサーズキャンの強みである行動変容ノウハウを応用し開発した生活習慣病治療プログラム等のソリューションを、当社顧客の健康保険組合・企業等に提供することで、当社グループの保険者・生活者領域における一層の事業規模拡大を加速させてまいります。

この結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は、15,511百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は3,751百万円となりました。

[遠隔医療]

当社グループは国内最大の放射線診断専門医プラットフォームを有しております。当中間連結会計期間においては、遠隔読影サービスを利用する医療機関数が引き続き拡大した結果、売上収益は前年同期比ベースで増収となりました。

なお、画像診断をアシストする人工知能エンジンプラットフォーム「A I — R A D」の機能追加やアジアでの事業展開を本格化するための準備等、事業拡大のための施策は引き続き進めております。

この結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は、3,058百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は1,130百万円となりました。

[調剤薬局支援]

当中間連結会計期間においては、既存顧客の買換え需要を確保しつつ、新規顧客の開拓に努めてまいりました。調剤薬局を取り巻く環境はデジタル化を進めながら競争が激しさを増しております。

上記の状況の中、当社の調剤薬局支援セグメントの構成要素である株式会社ユニケソフトウェアリサーチ及びその管理目的会社について、2023年6月にその全株式を当社の業務提携先である株式会社EMシステムズに譲渡いたしました。本譲渡により、これまで行ってきた両社の取り組みを更に加速させることでより一層質の高いサービスの提供と、薬局市場において新たな旋風を巻き起こし占有率を高めてまいります。

この結果、当中間連結会計期間のセグメント売上収益は、649百万円となり、セグメント利益（セグメントEBITDA）は116百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上収益は19,197百万円、営業利益は3,250百万円、EBITDAは4,619百万円となりました。なお、EBITDAから営業利益への調整は以下のとおりであります。

(EBITDAから営業利益への調整表)

(単位：百万円)

	第11期 中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	第12期 中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
EBITDA	3,303	4,619
減価償却費及び償却費	△1,074	△1,331
その他の収益	1,479	66
その他の費用	△106	△104
営業利益	3,602	3,250

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末から13,695百万円増加し136,148百万円となりました。主に、営業債権及びその他の債権が6,891百万円減少した一方で、現金及び現金同等物が12,982百万円、契約資産が2,506百万円それぞれ増加したことに加え、新規連結子会社の取得に伴い、のれんが2,065百万円増加したことによります。現金及び現金同等物の増減については、「② キャッシュ・フローの状況」を参照ください。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から11,938百万円増加し63,704百万円となりました。主に、非流動負債の借入金が11,292百万円増加したことによります。

(資本)

当中間連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末から1,757百万円増加し72,444百万円となりました。主に、中間利益2,211百万円を計上した一方で、配当金914百万円を計上したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から12,982百万円増加し、27,456百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における税引前中間利益は3,167百万円となり、前年同期比ベースで447百万円減少しております。また、契約資産の増加額2,506百万円、法人所得税の支払額981百万円等を計上する一方で、営業債権及びその他の債権の減少額7,018百万円、契約負債の増加額1,691百万円、減価償却費及び償却費1,331百万円等を計上した結果、営業活動から得られた資金は、10,777百万円となりました。なお、前連結会計年度において、「営業債権及びその他の債権の増減額」に含めていた「契約資産の増減額」、及び「その他」に含めていた「契約負債の増減額」は、重要性が増したことにより見直しを行い、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の連結財務諸表の組替を行っております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4,524百万円となりました。主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,907百万円、有形固定資産の取得による支出1,074百万円、無形資産の取得による支出781百万円、投資の取得による支出594百万円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、6,729百万円となりました。主に、長期借入金の返済による支出2,916百万円、短期借入金の返済による支出1,803百万円、配当金の支払額914百万円を計上する一方で、長期借入れによる収入12,707百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年5月7日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,473	27,456
営業債権及びその他の債権	22,152	15,261
契約資産	21	2,528
その他の金融資産	3,619	3,897
棚卸資産	249	349
その他の流動資産	879	1,416
流動資産合計	41,395	50,908
非流動資産		
有形固定資産	12,724	13,477
のれん	55,974	58,040
無形資産	5,768	5,915
その他の金融資産	4,541	5,596
繰延税金資産	1,771	1,898
その他の非流動資産	277	311
非流動資産合計	81,057	85,239
資産合計	122,452	136,148
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	22,352	20,111
営業債務及びその他の債務	5,975	7,197
リース負債	1,086	1,133
未払法人所得税	1,316	1,179
契約負債	1,462	2,548
その他の流動負債	2,041	2,092
流動負債合計	34,235	34,263
非流動負債		
借入金	6,574	17,867
リース負債	7,819	7,695
退職給付に係る負債	205	297
引当金	472	478
繰延税金負債	699	696
契約負債	1,535	2,179
その他の非流動負債	223	226
非流動負債合計	17,530	29,441
負債合計	51,765	63,704
資本		
資本金	25,099	25,110
資本剰余金	28,304	28,204
自己株式	△3	△3
その他の資本の構成要素	23	28
利益剰余金	17,166	18,735
親会社の所有者に帰属する持分合計	70,590	72,075
非支配持分	96	368
資本合計	70,686	72,444
負債及び資本合計	122,452	136,148

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書
(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上収益	13,746	19,197
売上原価	6,171	8,382
売上総利益	7,575	10,815
販売費及び一般管理費	5,346	7,527
その他の収益	1,479	66
その他の費用	106	104
営業利益	3,602	3,250
金融収益	29	3
金融費用	17	86
持分法による投資損益 (△は損失)	—	0
税引前中間利益	3,615	3,167
法人所得税費用	951	956
中間利益	2,663	2,211
中間利益の帰属		
親会社の所有者	2,662	2,189
非支配持分	0	21
中間利益	2,663	2,211
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益 (円)	42.20	33.51
希薄化後1株当たり中間利益 (円)	40.53	33.18

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	2,663	2,211
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	5	294
純損益に振り替えられることのない項目合計	5	294
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△1	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1	0
税引後その他の包括利益	3	295
中間包括利益	2,667	2,506
中間包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	2,666	2,484
非支配持分	0	21
中間包括利益	2,667	2,506

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業 活動体の 外貨換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	新株予約権
2023年4月1日時点の残高	23,994	27,211	△2	△4	—	32
中間利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△1	5	—
中間包括利益合計	—	—	—	△1	5	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	6
新株予約権の行使	1,099	1,099	—	—	—	△7
新株予約権の失効	—	0	—	—	—	△0
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
企業結合による変動	—	△13	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	△5	—
所有者との取引額合計	1,099	1,086	△0	—	△5	△1
2023年9月30日時点の残高	25,094	28,298	△2	△5	—	31

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	合計
	合計	利益剰余金	合計		
2023年4月1日時点の残高	28	13,308	64,539	△14	64,524
中間利益	—	2,662	2,662	0	2,663
その他の包括利益	3	—	3	—	3
中間包括利益合計	3	2,662	2,666	0	2,667
新株予約権の発行	6	—	6	—	6
新株予約権の行使	△7	—	2,192	—	2,192
新株予約権の失効	△0	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	△754	△754	—	△754
企業結合による変動	—	—	△13	90	77
利益剰余金への振替	△5	5	—	—	—
所有者との取引額合計	△6	△749	1,430	90	1,520
2023年9月30日時点の残高	25	15,221	68,635	76	68,712

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業 活動体の 外貨換算 差額	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	新株予約権
2024年4月1日時点の残高	25,099	28,304	△3	△6	—	30
中間利益	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	0	294	—
中間包括利益合計	—	—	—	0	294	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	—	4
新株予約権の行使	11	11	—	—	—	△0
新株予約権の失効	—	0	—	—	—	△0
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△112	—	—	—	—
企業結合による変動	—	—	—	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	△294	—
所有者との取引額合計	11	△100	△0	—	△294	3
2024年9月30日時点の残高	25,110	28,204	△3	△5	—	34

	親会社の所有者に帰属する持分				
	その他の資本 の構成要素			非支配持分	合計
	合計	利益剰余金	合計		
2024年4月1日時点の残高	23	17,166	70,590	96	70,686
中間利益	—	2,189	2,189	21	2,211
その他の包括利益	295	—	295	—	295
中間包括利益合計	295	2,189	2,484	21	2,506
新株予約権の発行	4	—	4	—	4
新株予約権の行使	△0	—	22	—	22
新株予約権の失効	△0	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
配当金	—	△914	△914	—	△914
非支配持分との取引	—	—	△112	2	△109
企業結合による変動	—	—	—	248	248
利益剰余金への振替	△294	294	—	—	—
所有者との取引額合計	△290	△620	△999	250	△749
2024年9月30日時点の残高	28	18,735	72,075	368	72,444

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	3,615	3,167
減価償却費及び償却費	1,074	1,331
その他の収益	△1,479	△66
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	156	7,018
契約資産の増減額 (△は増加)	11	△2,506
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1	△39
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△57	1,141
契約負債の増減額 (△は減少)	361	1,691
その他	△731	102
小計	2,951	11,840
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△15	△83
法人所得税の支払額	△911	△981
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,025	10,777
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△390	△1,074
無形資産の取得による支出	△571	△781
貸付けによる支出	—	△210
貸付金の回収による収入	0	10
投資の取得による支出	△122	△594
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,538	△1,907
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	273	—
その他	△279	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,628	△4,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,701	300
短期借入金の返済による支出	△264	△1,803
長期借入れによる収入	28	12,707
長期借入金の返済による支出	△2,121	△2,916
リース負債の返済による支出	△445	△561
新株予約権の行使による収入	2,192	22
配当金の支払額	△754	△914
その他	5	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	341	6,729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,261	12,982
現金及び現金同等物の期首残高	22,782	14,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,521	27,456

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは提供するサービスの性質の類似性を勘案し、「ヘルスビッグデータ」、「遠隔医療」及び「調剤薬局支援」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに含まれる主な事業及び主要なサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業	主要なサービス
ヘルスビッグデータ	インダストリー向け事業 保険者・生活者向け事業 医療提供者向け事業	医療データベース（レセプト・医薬品ほか）の開発・提供、医療ビッグデータの分析
遠隔医療	遠隔医療事業	遠隔読影マッチングサービス及び遠隔読影システムのASPサービス
調剤薬局支援	調剤薬局支援事業	調剤薬局向け業務システムの開発・販売

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

セグメント間の内部売上収益は、市場価格や製造原価を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。セグメント利益はEBITDA（営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用）であります。

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	9,795	2,740	1,211	13,746	—	13,746
セグメント間収益	38	—	50	89	△89	—
合計	9,834	2,740	1,261	13,836	△89	13,746
セグメント利益						
EBITDA	2,492	1,014	133	3,641	△338	3,303

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	連結
	ヘルスビッグ データ	遠隔医療	調剤薬局支援	計		
売上収益						
外部収益	15,489	3,058	649	19,197	—	19,197
セグメント間収益	21	—	—	21	△21	—
合計	15,511	3,058	649	19,219	△21	19,197
セグメント利益						
EBITDA	3,751	1,130	116	4,999	△379	4,619

(注) 調整額の内容は、セグメント間取引の消去及び全社費用になります。

EBITDAから税引前中間利益への調整表は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
EBITDA	3,303	4,619
減価償却費及び償却費	△1,074	△1,331
その他の収益	1,479	66
その他の費用	△106	△104
営業利益	3,602	3,250
金融収益	29	3
金融費用	△17	△86
持分法による投資損益 (△は損失)	—	0
税引前中間利益	3,615	3,167

(重要な後発事象)

該当事項はありません。